

混乱必至

保険証廃止やめよ

# 命にかかわる人違い

世論調査でも国民の過半数が「反対」にもかかわらず、健康保険証を廃止し、「マイナンバーカード」を強要する岸田政権。しかし、



保険証廃止は撤回を訴える人たち。5月29日、参院議員会館前（共産党ホームページより）

システムを導入した医療機関の中には、マイナカードで医療情報を読み込んだ上、確認のため保険証の提示を患者に求めているところがあります。マイナカードの信頼は地に落ちています。保険証を廃止する理由はありません。混乱は必至。廃止はやめるべきです。

## 山下参院議員が反対討論

共産党の山下芳生議員は2日の参院本会議で、マイナンバー法案採決に先立ち反対討論。「トラブルが相次ぐ中で審議を打ち切り、

法案だけ通すのは国民に対する国会の責任放棄だ」と強く抗議しました。



反対討論に立つ山下議員。2日、参院本会議

審議打ち切り  
責任放棄

制度解説

衆院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
小選挙区は「**候補者の名前**」で

政党名を  
と書きます

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

マイナ保険証強要

入管法改悪

# 実施させぬたたかいを

いま国会は、岸田政権と自民・公明・維新・国民の「悪政4党連合」によって「悪法製造マシン」のような異常な状態です。マイナンバー法改定案、入管法改悪案などの採決が次つぎ強行されています。しかし、法案の根拠は総崩れです。



記者会見する志位委員長。1日、国会内

## 志位委員長が表明

「マイナ改定案」は、他人の医療情報が誤ってひも付けされていた事実が多数発生し、「不安をなくす」という法案の前提は完全に崩壊。

「難民申請」の乱用が理由の入管法改悪。難民審査参与員の柳瀬房子氏の「難民を探して認定したいと思っているのに、ほとんど見つけることができない」との発言が根拠にされています。ところが同氏には全体の4分の1に当たる審査が集中、まともな審査が行われなかった疑いが極めて濃厚です。



デジタル庁のホームページより

共産党の志位和夫委員長は「法案を撤回してやり直すのが当たり前なのに、強行する『4党連合』の責任はきわめて重い」と批判。「最後まで廃案をめざして頑張り、法案が強行されても実施を許さないたたかいに大いに取り組んでいきたい」と述べました。（1日、記者会見）

# 日本共産党

近畿民報

2023年6月 No.2 (第553号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目